



# EKK Group CSR Report 2010

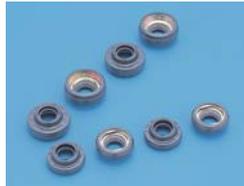
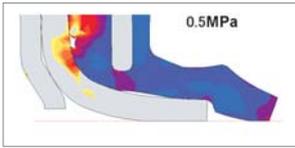
EKKグループ CSRレポート 2010 WEB版





### 3 EKKのCSRビジョン 大きな地球を守る 確かな技術

EKK製品は、機器の安定運転を支えるだけでなく、地球環境汚染防止に大きく貢献しています。



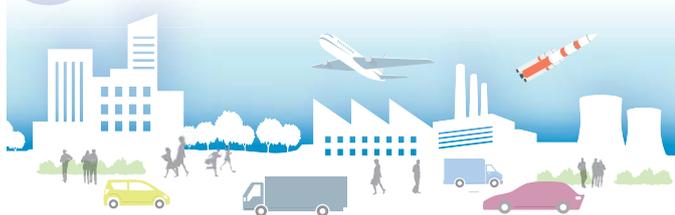
### 4 トップメッセージ

「より良い会社」を常に追求しながら、「よりよい社会」の実現に貢献していきます。



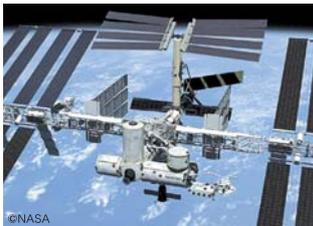
### 6 こんなところにEKK製品

幅広い分野で使われ、社会を支えるとともに、豊かな未来づくりにも貢献しています。



### 8 特集 「最先端」を支える EKKの技術

EKK製品は原子力発電プラントや宇宙開発等の分野で、大きな社会的使命の実現に重要な役割を果たしています。



### 10 経営体制 CSR マネジメント

事業の持続的発展を実現していくために、経営体制の充実に努めています。



### 12 環境報告 環境マネジメント

EKKグループ全体で継続的に環境保全活動に取り組んでいく仕組みを充実させ、その実践を図っています。



### 15 環境報告 環境負荷削減 の取り組み

事業活動によって生じる環境負荷を把握・分析し、環境負荷低減活動を推進しています。



### 18 社会性報告 お客様とともに 品質への取り組み

EKK製品への信頼に応え続けるために、品質管理に全社を挙げて取り組んでいます。



### 19 社会性報告 地域とともに 地域・社会 との交流



### 20 社会性報告 従業員とともに 風通しが良く、働きがいのある 職場づくり

安全衛生の確保はもとより、心と身体への健康維持・増進、ワークライフバランスの実現などに取り組んでいます。



### 22 日本と世界に広がるEKK



#### 編集方針

本報告書は、環境活動報告、安全衛生活動報告に加え、社会的側面に関する記載の充実に努めました。環境省「環境報告書ガイドライン(2007年版)」および「GRIサステナビリティ・リポーティング・ガイドライン2007」を参考に作成しました。

- 報告対象期間  
2009年度(2009年4月1日から2010年3月31日)の実績が中心ですが、2010年度の取り組みを一部含んでいます。
- 報告書発行日  
2010年9月27日

- 報告対象組織  
イーグル工業株式会社/イーグルブルグマンジャパン株式会社/KEMEL株式会社/岡山イーグル株式会社/鳥根イーグル株式会社/新ニノミヤメタル株式会社/広島イーグル株式会社/北海道イーグル株式会社/イーグルサービス株式会社/リグナムパイター株式会社/株式会社ハルコム

[CSR報告書に関するお問い合わせ]  
イーグル工業株式会社 業務本部 総務部 CSR課  
TEL.03-3432-3892 FAX.03-3432-5448  
〒105-8585 東京都港区芝大門1-12-15  
URL <http://www.ekk.co.jp/>



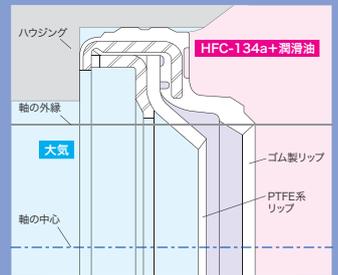
EKKのCSRビジョン

# 大きな地球を守る 確かな技術

EKKが  
世界に誇る  
シール精密技術。  
そこから生まれる  
製品は、エンジンや  
産業機器などの安定運転を  
支えるだけでなく、機器内部  
からの油、溶剤、冷媒などの漏れを  
防ぎ、地球環境汚染防止に  
大きく貢献しています。

## たとえばカーエアコンで、CO<sub>2</sub>の1,300倍も強力な 温室効果ガスの大気放出を防いでいます。

カーエアコン等のコンプレッサーの冷媒には、オゾン層を破壊しない代替フロン「HFC-134a」が使われます。しかし、この物質はCO<sub>2</sub>の約1,300倍もの温室効果を有するガスです。CO<sub>2</sub>の大気中濃度が年々急速に高まっていることが大きな環境問題となっている中で、EKKのコンプレッサー回転軸シールであるリップシールは、コンプレッサー内部の冷媒を密封し、大気中への漏れを防ぎます。EKKの優れたシール技術は、地球温暖化防止の面でも大きな貢献を果たしています。



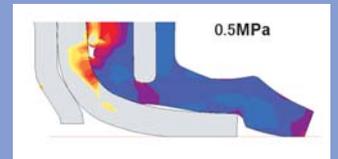
「回転軸シール」断面図

## 高度なシール性能で、カーエアコン心臓部を長期にわたり支えます。



EKKリップシール

EKKリップシールの高度な基本性能は、密封流体側に配された耐冷媒性の高いゴム材料と、大気側に置かれた自己潤滑性の高いPTFE系材料による優れた構造によって支えられています。運転時における各部の使用圧力を高い精度で検証できるFEM解析手法を用いた最適構造を細部にわたって追求し、耐久試験等で十分な検証を行うことで、長期の使用に耐える高い信頼性を確保しています。



高圧時のFEM解析結果

## トップメッセージ

「より良い会社」を常に追求しながら、  
「より良い社会」の実現に貢献していきます。



NOKグループの中核企業である私どもイーグル工業株式会社は1964年東京オリンピックが開催された年にNOK株式会社と米国シーロール社との合併企業として設立され、その後、日本をはじめ世界44カ国に子会社・関連会社約100社を有する東証一部上場のグローバル・アンド・パブリックカンパニーに成長してまいりました。主力製品である各種ポンプ等に使われる軸封装置メカニカルシールをはじめ関連機器を世界中の約4,500名の従業員の手により文字通り世界中で作り世界中に販売しています。

### 時代のニーズに合ったCSR活動

金融危機に端を発した世界同時不況発生以降の世界の流れを眺めてみると、「環境」「品質」が世界のキーワードになっていると思います。

このような状況において、私はイーグル工業の経営哲学である「企業は株主、従業員及び地域社会の共有物である」という考え方のもとに、企業の経営環境悪化のなかでも維持してきた「環境・品質・従業員の安全は私達企業が守らなくてはならない3つの聖域である」という考え方こそ、まさに今の時代の要求にも叶ったものであると意を強くしております。そうであるからこそ、ますますこの考え方を、変動激しい経済社会のなかにあっても、

さらに徹底してグループ企業の経営の隅々にまで展開していく必要性を感じています。CSR活動は、私にとっては「経営哲学の具現化」の道だからです。

### 徹底した「環境」「品質」「安全」への取り組み

私どもが「品質」を以前から特に重視してきましたのは、消費者の方の目に触れる機会は少ないとは思いますが、EKKグループの製品が自動車・二輪車のエンジン回り・ポンプ等の家庭用製品・航空機・産業機械といった幅広い分野での主要部品として使用され、なかには圧倒的な世界シェアを有しているものも多くあるからです。いわば世界の社会・産業活動を陰で支える役割を担っているからで、それら製品の品質の維持向上は、お取引先様に対してのみならず、社会を支える企業として当然の責務でもあります。

また、「環境」の面でも、当社の技術であるシール技術は、簡単にいえば「流体等を漏らさない」技術ですが、この技術は今後厳格化される「地球環境」を守る技術として、様々な分野でますます世界に貢献できるものと思っております。当社は、こうした製品群での貢献だけでなく、CSR報告書でご報告するようにEKKグループ独自に「環境目的と目標」を設定し、継続的な環境改善活動を展開する等各種マネジメント活動も幅広く続けております。今後とも多様化・深刻化する地球環境問題の解決のために、環境保全に役立つ製品の開発等を通して貢献していきます。

さらに、「安全」についての重要性はいうまでもないことですが、「環境」「品質」の維持も実際にこれらを推進する従業員がいきいきと働くことのできる安全な職場があってこそのものであり、その点は特に重視して取り組んでいます。

環境、品質、従業員の安全は、  
私たち企業にとって  
守らなくてはならない3つの聖域である  
と考えております。



### ステークホルダーの方々への期待に応えるために

いつの時代でも、いつまでも、その時代のニーズに合わせ、私たちEKKグループは全てのステークホルダーが誇りを持てる、また地域社会からも愛される“良い会社”であり続けなければなりません。“良い会社”であり続ける、これがEKKグループの最終的に目指している姿であり、また“より良き社会”の実現のために貢献していくことができる、これがEKKグループの願いです。

本報告書「CSR報告書2010」はステークホルダーの皆様に対し、EKKグループの環境保全活動への取り組み及び品質の向上及び社会的な活動をご理解していただくとともに、コミュニケーションの重要な手段の一つと考えおります。皆様の忌憚のないご意見、ご感想を頂戴できれば幸いに存じます。

イーグル工業株式会社  
代表取締役社長

鶴 鉄二

### ステークホルダーとのかかわり

- ニーズにかなった高品質の製品が、合理的なコスト・納期で的確に供給されること
- 納入された製品に関し、維持・修理のアフターケアが適切になされること
- 技術力を持ち、新製品の開発、新分野への展開を支えてくれる信頼できるパートナーであること

お客様

- 企業価値が確実に向上していくこと
- 配当と企業体質強化のための内部留保とのバランスをとり、長期的かつ安定した適切な株主還元がなされること

株主

従業員

- 勤労を通じ適切な報酬を得ること
- 生産活動を通じ社会に貢献すること
- 物質的・精神的両面から豊かな生活を追求する糧が得られ、多様な目標が高い次元で達成される場が提供されること

社会



取引先

- 製品・サービスを安定して納め、それに伴う適切な対価が得られること
- 取引を通じ、技術力を高めたり新分野を切り開いたり、あるいは企業としての信頼性の向上が得られること

金融機関

- 健全な企業活動が行われ、安定した納税・雇用機会創出がなされること
- 集団として社会との広範な繋がりがはぐくまれ、地域社会の活性化に貢献すること
- 製品の普及を通じ環境保全に資すること

- 信用供与等の金融取引を反復・継続して行い、リスクに見合った適切な収益が得られること
- 取引を通じ、金融取引における応用性を拡大するとともに、企業としての信頼性の向上が得られること

# こんなところにEKK製品

毎日の暮らしに欠かせない身近な機器やクルマから、  
各種プラントや原子力発電所、航空機、そしてロケットや宇宙ステーションまで。  
EKKの製品は幅広い分野の機器に使われ、社会を支えるとともに、豊かな未来づくりにも貢献しています。

## 建設機械・農業用機械



フローティングシール

ショベルカーやブルドーザなどの建設機械や、農業用機械等の足回りに使われるフローティングシールにより、さまざまな建設・農業事業を支えています。

## 家庭用製品

家庭の井戸水汲み上げポンプなどに使用されるメカニカルシールとして、機器構造に応じて選定していただける豊富なラインナップを取り揃えています。当社オリジナルのロングセラー製品です。



メカニカルシール

## 自動車

自動車のウォーターポンプ用メカニカルシール、カーエアコン用リップシールやコントロールバルブ、エンジン・トランスミッション・足回り・燃料装置用ソレノイドバルブなど、多彩な製品を高い品質レベルで安定的に提供しています。



メカニカルシール



リップシール



ソレノイドバルブ

## 二輪車

二輪車等の排ガス対策用リードバルブをはじめ、低速から高速までの高出力仕様・フラットタイプリードバルブなどを提供しています。



フラットタイプ  
リードバルブ



標準リードバルブ

私の  
CSR  
活動



イーグル工業（株）  
広島支店

池田 久美さん

工場などと比較して支店での活動効果は小さなものですが、それでも全員、毎日常に環境保全を考えながら活動しています。09年度はコピー用紙使用量は大幅減を達成できました。また、会社外でもエコバッグ使用やアイドリングストップなど、「小さいことからコツコツと！ 継続は力なり！」精神で取り組んでいます。



## 航空・宇宙

航空機やロケットのエンジンメインシャフト、エンジンギアボックス、ターボポンプなどに使用される各種シールを開発製造しています。「高温・高圧」という過酷な使用条件に耐える製品を安定的に提供することにより、高い評価を得ています。



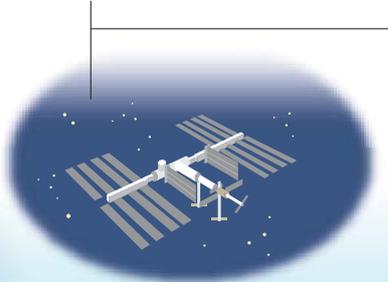
ブラシシール



ガスシール用金属ガスケット



セグメントシール



## 発電所

原子力発電所で原子炉の一次系冷却材ポンプに使われる軸シールや、原子炉運転中の万一の事故の際に主蒸気ラインを隔離する主蒸気隔離弁などを最高レベルの品質性能で提供し、プラントの安全操業に貢献しています。



ノーコンタクトシール



主蒸気隔離弁

## 産業機械

生産設備機械・石油化学プラントなどあらゆる設備機械のシール装置部やポンプ類などに使用されている各種メカニカルシールをはじめ、磁性流体シールや金属ペローズ、変位センサー、圧力計測機器類を製造しています。



金属ペローズ



メカニカルシール



圧力センサー



ダイヤモンドコーティング

## 船舶

船舶のプロペラシャフトに装着され、潤滑油の船外漏洩や、船内への海水進入を防ぐスタンチューブシールのほか、優れた耐久性を誇るスタンチューブベアリング等を製作することにより、安全で地球環境にも優しい船舶の航行に貢献しています。



スタンチューブシール



スタンチューブベアリング

私の  
CSR  
活動



イーグル工業 (株)  
埼玉事業場  
設備管理課  
前谷 優貴さん

設備管理課では、排水処理、電力管理等を通じて環境負荷物質の流出防止や省エネ活動に努めています。設備管理課の業務に携わるようになって、私生活でも地球環境に優しい生活を心がけるようになりました。節電・節水・資源のリサイクル化・エコドライブなど、小さなことですが、コツコツと環境保護に取り組んでいます。

# 「最先端」を支えるEKKの技術

EKK製品は地球温暖化防止に貢献する原子力発電プラントや、次世代に向けた夢を担う宇宙開発等の分野で広く使われています。環境保全や宇宙開発といった最先端の分野を支える技術として、社会に広く貢献しています

## 沸騰水型原子力プラントの安全の要、「主蒸気隔離弁」

### CO<sub>2</sub>削減の決め手「原子力発電」に早くから貢献

原子力発電は、ウラン燃料が核分裂したときに出る熱を使って発電するため、CO<sub>2</sub>をほとんど排出しません。1kWhあたりのCO<sub>2</sub>排出量は、石油火力発電の約3%<sup>\*1</sup>に過ぎないことから、地球温暖化防止に極めて有効な発電方式として世界的に注目を集めています。

しかし、核分裂に伴う熱で水を沸かし、その蒸気でタービンを回転させるため、放射性物質の慎重な管理が必要です。そのため、原子力発電プラントには徹底した防護・安全対策が施されますが、その要となるのが主蒸気隔離弁 (MSIV: Main Steam Isolation Valve) です。

EKKは1971年、島根原子力発電所 (46万kW) 用に、国産初の沸騰水型原子力発電プラント用MSIV (16インチ弁) を製作しました。以来、国内の沸騰水型、および改良型沸騰水型原子力発電プラント用に20~28インチ弁を200弁あまり製作し、納入しています。

\*1 電気事業連合会ホームページ「各種電源別のCO<sub>2</sub>排出量」より

### 原子力発電プラントの安全運転を支える設計思想

沸騰水型原子力発電プラントでは、原子炉圧力容器から発電用タービンまで、主蒸気管で蒸気が送られます。MSIVは、この主蒸気管が原子炉格納容器を貫通する隔壁の前と後ろに1

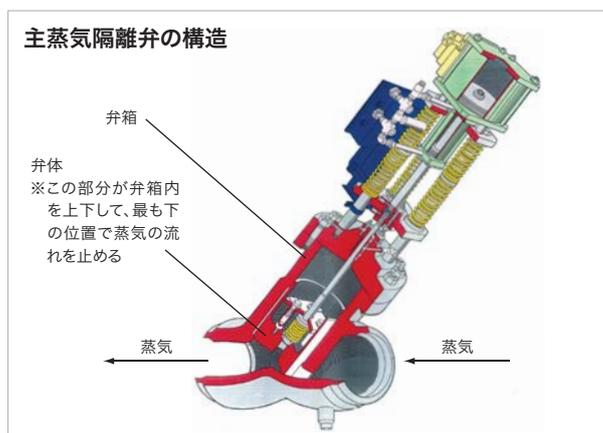
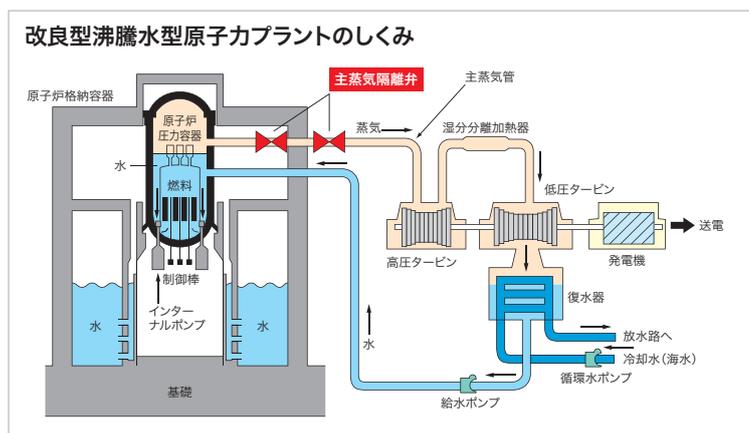
弁ずつ設置され、プラントに異常が発生した際は弁を閉じて原子炉からの蒸気流出を防ぎ、事故を早期に終息させる重要な役割を担っています。そのため、MSIVには、弁座の気密性ととも、異常時に確実に閉鎖する機能が求められます。そこでEKKでは、駆動源である電気または空気のいずれかの供給が喪失する事態に陥った場合、常に安全側に制御が働いて閉弁する設計 (フェールセーフ設計) をMSIVに施しています。

### 地球温暖化防止に向けて、さらに開発を推進

EKKの改良型沸騰水型発電プラント向けMSIVの納入実績は、建設中の発電所用のものも含めると48弁 (6プラント) にのぼります。あわせて、耐環境試験、流水遮断試験、事故模擬試験、耐震試験、流体振動解析など、数々の試験により、EKKのMSIVは沸騰水型原子力発電プラントの安全の要として高い信頼性を有することを実証してきました。こうして、設計の検証と改良を重ねた結果、現在では135万kW級改良型沸騰水型発電プラント向け<sup>\*2</sup>MSIVを製作するまでに至っています。

EKKは今後もMSIVの開発を進め、将来は150~170万kW級大型発電所用製品を手掛けることを目指しています。同時に、発電効率の向上に適合する低圧損化、大容量化を推し進め、次世代MSIV技術を確立することで、地球温暖化防止の決め手として期待が高まる、原子力発電の普及に一層貢献していきたいと考えています。

\*2 東京電力 柏崎刈羽原子力発電所 第6号機・7号機、東北電力 志賀原子力発電所 第2号機、中部電力 浜岡原子力発電所 第5号機、中国電力 島根原子力発電所 第3号機 (建設中)、電源開発 大間原子力発電所 第1号機 (建設中)



イーグル工業 (株)  
岡山事業場  
設計管理課  
古米 和美さん

設計管理部設計管理課に所属しており、設計部門のサポートを主な業務としています。日頃から使用していないOA機器の電源を切ったり、コピー用紙の再利用、ゴミの分別などを行っています。無駄なコピーをしないようPDF化などの事務改善活動も推進しています。今後も業務の効率化を行い環境保護に努めていきたいと思ひます。



# 世界の信頼と期待に応える「航空宇宙」関連製品

## 特殊環境下で機器の高性能化、省エネ化に貢献

EKKは高度な技術と豊富な経験を活かし、航空宇宙分野にも幅広く進出しています。これまで、ロケット、人工衛星、宇宙ステーション、航空機等に使用されるペローズアキュムレータや、さまざまなシール製品等を開発・製作してきました。これらの製品は、高温・高圧・高速回転、高真空、極低温といった、極め

て特殊かつ過酷な作動環境下に置かれます。EKK製品はこうした使用条件を克服し、機器の安定運転を支えることで、高い信頼性を得ています。

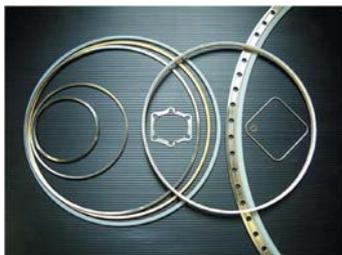
近年は、航空宇宙分野でも省資源、省エネルギーを目指した製品づくりが進んでいます。そうした流れを受けて、高精度・高信頼性を誇るEKK製品の貢献領域は、航空宇宙分野でますます拡大しています。EKKはさらに高度な製品の開発を推し進め、次世代の夢を実現する航空宇宙分野に貢献していきます。

## EKKの航空宇宙分野製品

### ロケット関連



ロケットエンジン用ターボポンプシール。H-IIAロケットの第1段、第2段エンジンに採用され、極限条件下での高速回転軸において、流体の接触や漏洩を防ぐシールシステムを構成しています



スタティックシール。低荷重であるため、機器の軽量化、高密度化、小型化設計を実現。ロケットの燃料タンク、エンジンの配管、高圧ターボポンプの高性能化設計に貢献します

### 宇宙ステーション関連



冷媒の熱膨張を吸収するペローズアキュムレータ。国際宇宙ステーションの日本実験棟「きぼう」において、本体、ロボットアーム、船外実験プラットフォーム等の各種装置に使われています

### 航空機関連

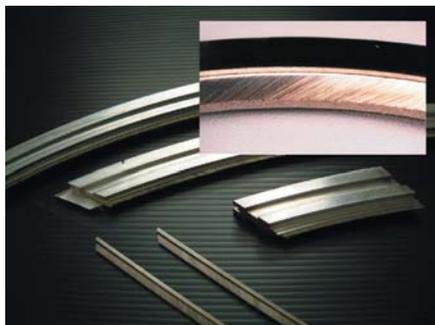


1966年、ジェットエンジンのギアボックスシールを開発。以来、航空エンジンのメインシャフトシールをはじめ、回転軸シール（ギアボックス、アクセサリ機器用）、高変位追従金属シール（エンジン内部の熱変形によって隙間から生じる漏れを防止）を製造しています



### 航空宇宙技術の応用製品

(発電用ガスタービン関連)



航空エンジンのシール技術（ブラシシール、Eシール等）から生まれた、地上用ガスタービンのシール。燃料消費率に優れ、また、漏れ損失が少なく、NOxの低減にもつながるため、地球環境保護の観点から採用が進んでいます



イーグル  
ブルグマンジャパン(株)  
設備管理課  
三星 宏さん

日々の仕事を通じて近隣地域に貢献し、当社がこの地に必要であることを認めていただくことと理解しています。私は設備管理課の重要な役割の1つである、排水や排気の汚れの流出を厳しく監視する任に就いています。まずは美味しい水と空気を我々に提供してくれる五泉の自然に負担を掛けないことが日々の行動の基本です。

# CSRマネジメント

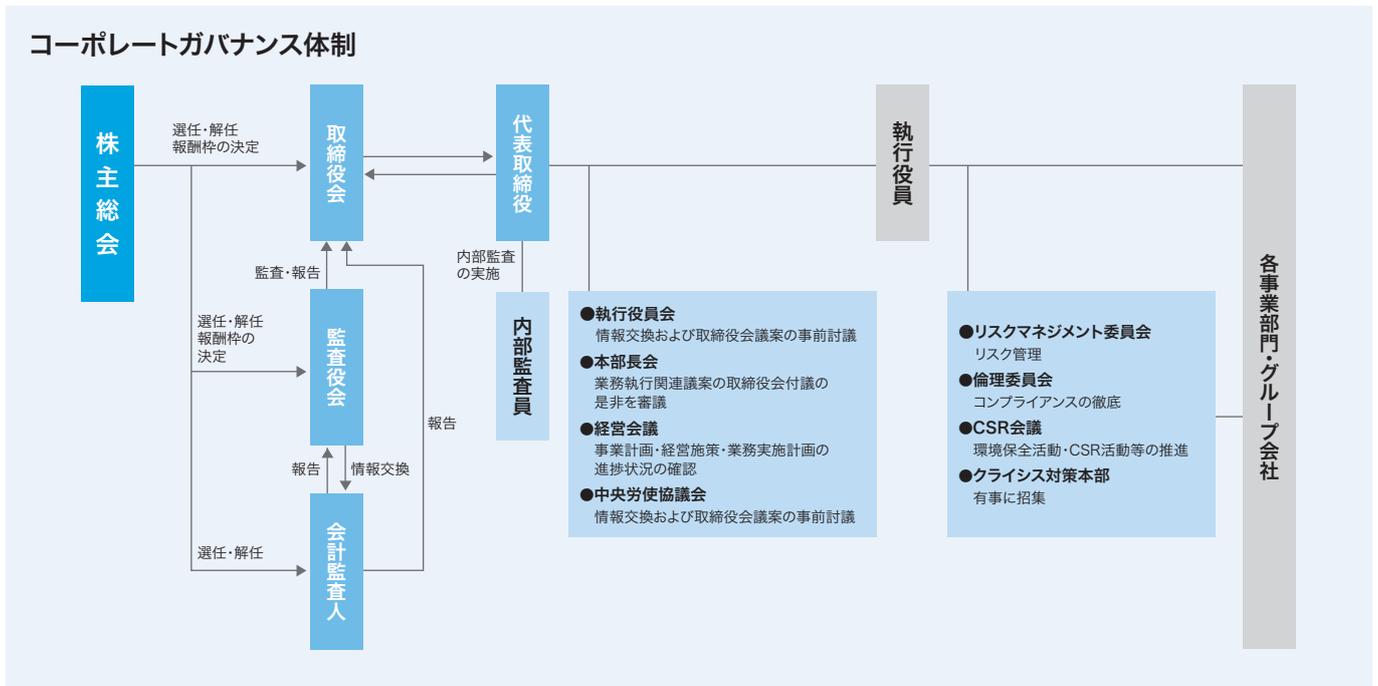
企業の社会的責任を果たし、すべてのステークホルダーから信頼されながら事業の持続的発展を実現していくために、経営体制の充実に努めています。

## コーポレートガバナンス

EKKは経営の意思決定がただちに実行に移されるよう常に組織の見直しを行うとともに、大幅な権限委譲と責任の明確化を図り、最大の成果を達成しうる体制の整備に努めています。特に経営会議をはじめとする各種会議には、その重要性に応じ監査役、労働組合の参加を得ることで経営の透明性を保っています。さらに経営トップによる本部・事業部診断は経

営層レベルにおける問題点の把握と共通認識が図れる体制になっています。

また企業活動の多様化、グローバル化等に伴い企業としてのリスク管理の重要性が増していることから、リスクマネジメント委員会を設置し有事での備えとしています。加えて、全従業員を対象とした行動規範を策定し、モラルの向上を図っています。



### 体質改革2カ年計画

## 企業体質の大改革 智恵と工夫で 逆境に立ち向かおう

体質改革2カ年計画の目標は、「売上高700億円(過去最高売上高の80%)以下でも利益の出る企業体質」を2011年3月期までに構築することです。具体的には、グループ連結企業全社の取り組みとして、営業利益、製品在庫、設備投資、減価償却費の4項目を重点指標と捉え、あらゆる分野での聖域なきコスト削減・見直し

を断行し、「在庫削減(適正在庫維持)」と「投資の抑制」により、キャッシュフローの改善を図り、債務返済の原資を確保する体制を整え、企業の財務体質の強化を図ります。

また、将来を見据えて人材育成・教育を強化するとともに、当社の基本的経営方針である安全・品質・環境の維持・向上にも注力します。更に、完成したEBIアライアンスの効果を発揮すべく、海外新市場や未開拓の成長市場に向けた重点的な拡販強化とともに徹底したアフターケアを始めとするフォロー体制により、顧客志向の商品展開を進めます。

これらの計画は、実効性を高めるべく各項目の進捗を適時確認し、未達目標に対しては柔軟に追加施策を講じつつ、単年度目標、2カ年目標の必達を目指します。

# リスクマネジメント

事業活動に潜むリスクを認知し、その顕在化を防止するとともに、クライシス(緊急事態)発生時の対応を定めるため、EKKは2003年に「リスクマネジメント方針」および「リスクマネジメント規程」を制定しました。

各本部・事業部および各関係会社は、「リスクマネジメント方針」に基づき、企業倫理、法令遵守の徹底およびリスクマネジメントの推進に努めるとともに、これらの活動を通じてより高い企業倫理の醸成を図っています。

## ■リスクマネジメントの運用体制

### リスクマネジメント委員会

事業活動に潜在するリスクを抽出・評価し、それらを組織的認識のもと、予防策の推進を図ります。

### 倫理委員会

会社の事業運営に伴って発生する倫理上の問題に関して、法令、業界のルール、社会規範に照らし、誠実透明かつ適正なる倫理に即した行動を保証する体制を整えます。また、会社が市場からの信任と評価を得られるような諸施策、および従業員の労働環境を倫理という視点から改善するような諸施策を推進します。

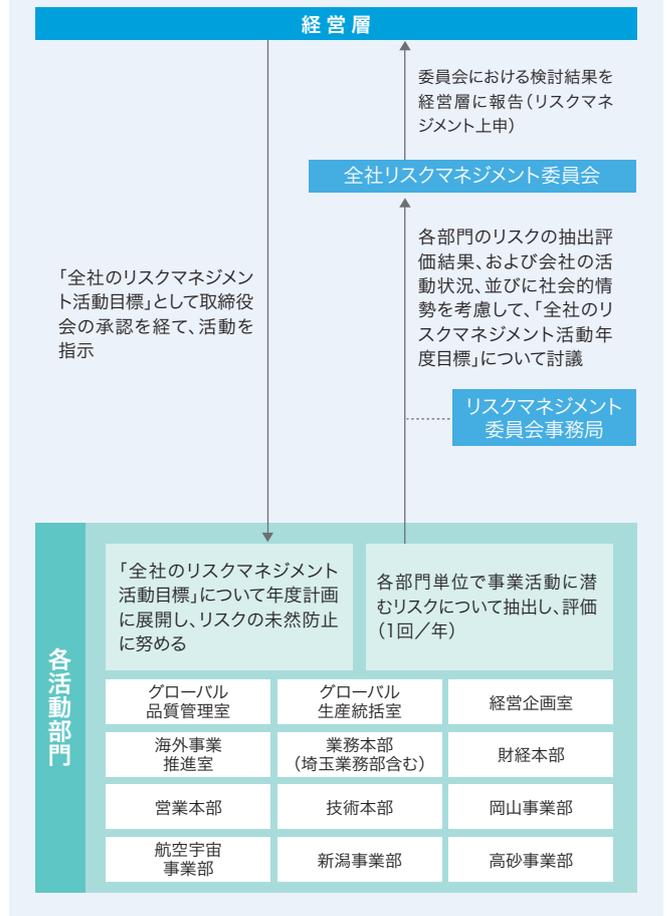
### クライシス(緊急事態)対策本部

クライシスが発生した場合、総力を挙げて状況の早期把握に努めるとともに、迅速・的確な状況判断のもとに、初動体制を確立し、被害の拡大防止を図ります。

### 倫理相談窓口

従業員から寄せられる倫理疑義事項(法令、業界のルール、社会規範に照らした疑問事項等)に関する相談の解決と、適

## リスクマネジメント体制



切な企業行動の維持を図ります。この相談窓口は、社外からの強制的な摘発、従業員等内部者による外部機関への告発、あるいは外部からの批判によってではなく、会社組織自らの力で、従業員の協力を得ながら、不公正な商慣習、違法行為、問題ある取引慣行などを事前に発見し、主体的に解決する「自浄制度」です。

## 更なる飛躍を目指して

しかしながら、更に将来までを展望とすると、当社グループの直面している足許の危機的状況は、一時的な景気の減速からすぐに回復するという短期的なものではなく、取り巻く事業環境や状況の大変動、いわゆるパラダイムシフトの序章であると捉えています。

当社グループは、この危機の後に起きるであろう環境変化までを見据え、抜本的な事業ポートフォリオの変革に取り組んでまいります。

事業環境の変化の方向としては、「省エネ」や「エコロジー」といったキーワードに代表される地球環境への各ユーザー業界の対応に既に明らかです。従来からの化石燃料から代替エネルギーへの転換等、環境保全への動きが、今般の危機への対応策として注目され、電動化や省エネ事業への展開が更に加速される一因と

なっております。

特に自動車市場における環境対応車、電気自動車へのシフト化は、当社グループ製品の需要減へつながることから、「環境・省エネ対応製品にベクトルを向け経営資源を集中する」、「既存AI\*事業からの脱却と新規事業の開拓」を喫緊の課題とし、体制を強化いたします。

足許の厳しい状況においては、更なる合理化やコスト削減といった施策は勿論ですが、世の中のニーズを把握し未知の事業環境への対応や創出も不可欠であります。

与えられた事業環境を、大きなチャンスだと捉え、企業体質を大幅に変革し更に飛躍ができる企業になっていることをまず目指しますが、先々の変化にも的確に対応し、グローバル・インテグラル・カンパニーを目指して邁進してまいります。

\*AI: Automotive Industry(自動車産業)

# 環境マネジメント

EKKグループ全体で継続的に環境保全活動に取り組んでいくために、環境方針を定め、環境マネジメントを推進する仕組みを充実させ、効率的かつ効果的な実践を図っています。

## 環境マネジメントシステム

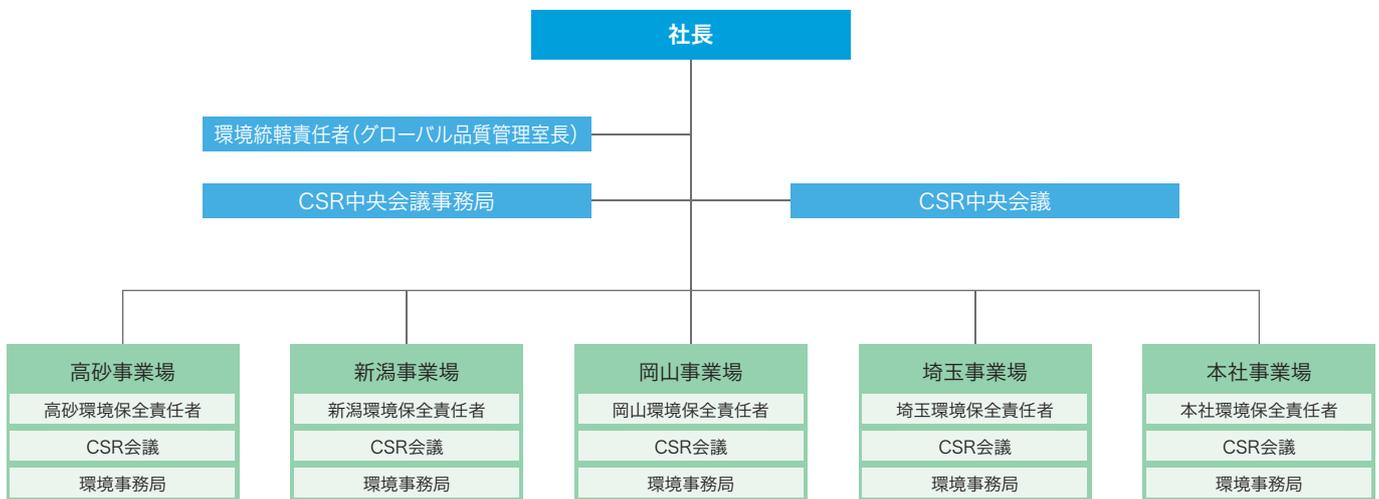
### ■環境管理組織体制

EKKグループでは、全社規模の環境マネジメント体制を整えています。体制の中心となるのは社長を議長とし、各事業場の環境保全責任者で構成される「CSR中央会議」です。

ここで決定された目的・目標のさまざまな取り組みが環境保

全責任者によって各事業場に展開されます。

また、各事業場の環境保全責任者を議長とする「事業場CSR会議」が置かれ、ここで確認された各事業場の取り組みは「CSR中央会議」で報告され、経営層によるマネジメントレビューが実施されます。



### ■ISO14001 認証取得状況

EKKグループでは、国内の本社および生産事業場が環境マネジメントシステムの国際標準規格「ISO14001」の認証を一括取得しています。これにより、同一方針、同一目的・目標のもとに、統一の取れた環境保全管理活動を行っています。2009年6月にイーグルブルグマンジャパンの営業支店に認証拡大を行いました。また2010年度はKEMEL新潟、KEMEL鋳造部門へ展開し認証の拡大を行いました。2011年度は国内関連会社への更なる拡大展開を目指します。

認証取得サイト	
イーグル工業(株)	埼玉事業場、岡山事業場、EKK営業支店
イーグルブルグマンジャパン(株)	新潟事業場、埼玉事業所、EBJ営業支店
KEMEL(株)	高砂事業所、呉工場、新潟工場
イーグル・エンジニアリング・エアロスペース(株)	
岡山イーグル(株)	
島根イーグル(株)	
イーグルサービス(株)	岡山事務所、福島事務所、浜岡事務所、柏崎事務所
北海道イーグル(株)	
リグナムバイター(株)	東京営業所

## ■環境に関連する法令遵守状況

EKKグループで遵守すべき法令等は全部で243項目あり、すべての項目について定期的に遵守を確認する体制をとっています。

### EKKの事業活動に関連する環境法令等

- 悪臭防止法
- エネルギーの使用の合理化に関する法律
- 下水道法
- 工業用水法
- 工場立地法
- 浄化槽法
- 振動規制法
- 水質汚濁防止法
- 騒音規制法
- 大気汚染防止法
- 地球温暖化対策の推進に関する法律
- 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律
- 特定工場における公害防止組織の整備に関する法律
- 特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律
- 毒物及び劇物取締法
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- 特定家庭用機器再商品化法
- ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法
- 特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律
- 河川法
- 瀬戸内海環境保全特別措置法
- 排水基準を定める省令
- 土壤汚染対策法
- 使用済自動車の再資源化等に関する法律
- RoHS指令
- ELV指令
- REACH規制

## ■緊急事態対応

EKKグループでは、燃料油・溶剤・排水処理液などが万が一漏洩した際に備え、さまざまな事態を想定し定期的に緊急事態対応訓練を実施しています。訓練は緊急事態に対応する関連各部門を巻き込み真剣に取り組み、実施後の反省を踏まえ改善に結び付けています。



岡山イーグル(株)



埼玉事業場

## ■環境診断

EKKグループでは半期に一度、各サイト(事業場、関係会社)を訪問し、環境統轄部門が主管となり、環境統轄責任者による「環境診断」を実施しています。この中で、各サイトの環境保全活動に関する計画・実績について、必要に応じて計画の見直しなどを指示します。これにより、環境保全活動の改善を図り、活動を推進しています。



新潟事業場 環境診断

## ■環境教育

EKKグループではISO14001の認証取得事業場所の全従業員に対し、毎年、環境業務推進計画書に基づき環境基礎教育を実施し、環境保全の専門教育を適宜行っています。

また、協力会社へ出向いての教育等も行っています。

## ■更新・定期審査および内部監査等

EKKグループでは、監査力量を持ち合せた社内監査員による内部監査、および外部審査機関による毎年の審査を実施しています。これにより適正にシステムが運用されPDCAによるスパイラルアップができていないか確認を行い、これらの結果を経営層へ報告し、改善しています。また3年に、1回のシステム認証更新審査を受審し、認証を維持継続しています。



岡山事業場 内部監査



本社事業場 定期審査



新潟事業場 定期審査



岡山イーグル(株) 定期審査



岡山事業場 内部監査

# 環境目的・実績と目標

当年度、翌年度、翌々年度と3年間の年度別環境目標を設定し、継続的に取り組むことで目標の着実な達成を目指しています。

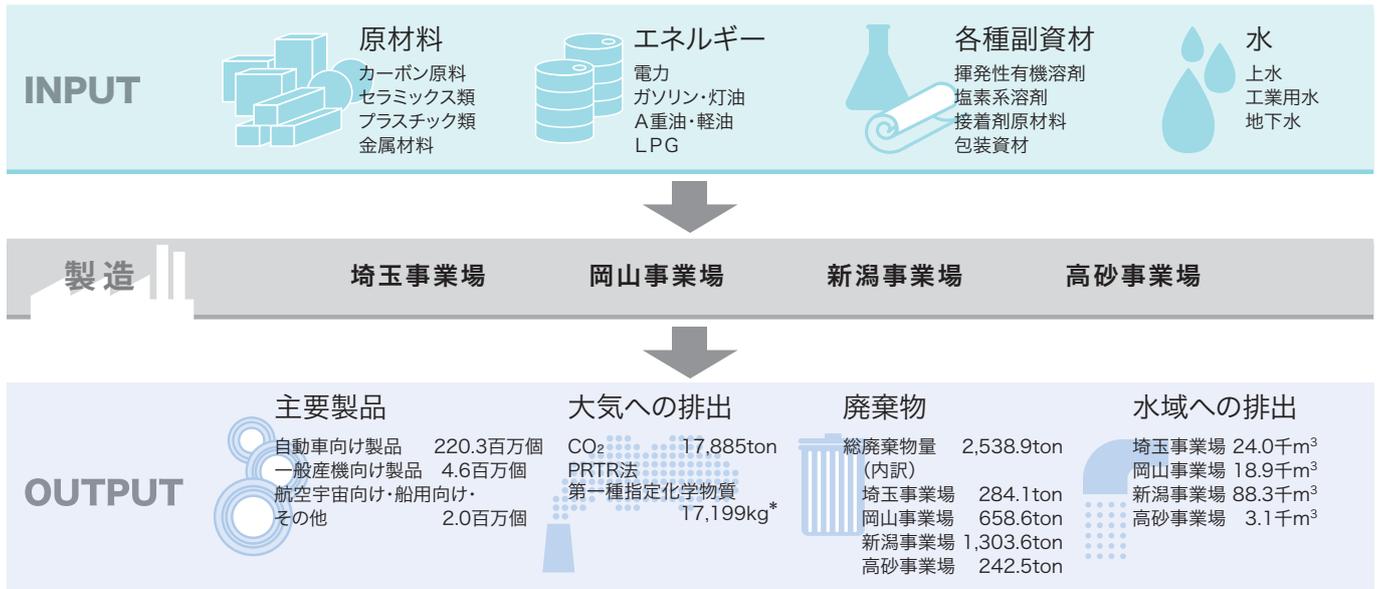
方針	環境目的	2009年度の実績	2010年度環境目標	2011年度環境目標	2012年度環境目標
製品の開発にあたっては、環境影響に配慮する	1 会社の技術・資源等を活用し、環境影響の抑制に寄与する製品または環境配慮型製品を開発する	各事業場設計部門の計画に基づき推進	各事業場設計部門の計画に基づき推進	各事業場設計部門の計画に基づき推進	各事業場設計部門の計画に基づき推進
	2 鉛・六価クロム・カドミウム未使用製品を顧客提供する	鉛・六価クロム・カドミウム未使用製品の顧客対応 99.4%[特定製品以外]	鉛・六価クロム・カドミウム未使用製品 [特定製品以外]顧客対応 100% [特定製品]顧客対応検討(品目毎)	[特定製品]顧客対応検討(品目毎)	[特定製品]顧客対応検討(品目毎)
省資源・省エネルギーに努める	3 CO <sub>2</sub> 排出量を2012年までに2005年度対比35%削減する(24,455ton→15,891ton)	15,454ton (CO <sub>2</sub> 換算係数は暫定) [2005年度対比 36.8%減]	16,300ton [2005年度対比 33.7%減] [前年度対比4.9%増]	16,100ton [2005年度対比 34.4%減]	15,900ton [2005年度対比 35.0%減]
	4 CO <sub>2</sub> 排出量の生産金額原単位を2012年までに2005年度対比44.4%削減する(0.493ton/百万円→0.274ton/百万円)	0.282ton/百万円 (CO <sub>2</sub> 換算係数は暫定) [2005年度対比 42.7%減]	0.280ton/百万円 [2005年度対比 43.3%減] [前年度対比1%減]	0.277 ton/百万円 [2005年度対比 43.8%減]	0.274ton/百万円 [2005年度対比 44.4%減]
廃棄物の低減と再資源化に努める	5 廃棄物の適正な分別管理により、リサイクル率を2009年度の実績を維持する	98.7 %	98% [2009年度実績レベルの維持]	98 % [2009年度実績レベルの維持]	98% [2009年度実績レベルの維持]
環境影響の継続的改善および汚染の予防に努める	6 PCB入り設備(装置)を適正に管理する	適正管理維持を実施	管理手順に従った適正管理	管理手順に従った適正管理	管理手順に従った適正管理
	7 吹付けアスベストを適正に管理する	適正管理維持を実施	管理手順に従った適正管理	管理手順に従った適正管理	管理手順に従った適正管理
	8 2012年までにVOC(揮発性有機溶剤)の大気放出量を2008年度対比重量(ton)で70%削減する(132.3ton→39.0ton)《対象物質:別途定めている107物質》	35.3ton [2008年度対比 73.3%減]	40.0ton [2008年度対比70%減] [前年度対比13%増]	39.5ton [2008年度対比 70%減]	39.0ton [2008年度対比 70%減]
	9 オゾン層破壊物質の大気放出量を適正(各事業場毎の管理指標に従う)に管理する《対象物質:HCFC225》	1,755 kg [2005年度対比 44.3%減]	各事業場毎の指標に従った適正管理	各事業場毎の指標に従った適正管理	各事業場毎の指標に従った適正管理
	10 事業場敷地周辺の環境美化	事業場周辺の環境保全活動実施	事業場周辺の環境保全活動	事業場周辺の環境保全活動	事業場周辺の環境保全活動
	11 原料・材料・部品・製品のグリーン購入の推進を図り、グリーン調達率を2010年までに100%とする	グリーン調達率 66.7%	グリーン調達率 100%	取引先の適正管理維持を実施	取引先の適正管理維持を実施
	12 最終放流口からの油・酸・アルカリ・有機溶剤・その他環境汚染物質の流出防止を図る	管理手順に従った適正管理(自主基準に基づく監視・測定)	管理手順に従った適正管理(自主基準に基づく監視・測定)	管理手順に従った適正管理(自主基準に基づく監視・測定)	管理手順に従った適正管理(自主基準に基づく監視・測定)
13 土壌・地下水汚染の継続的改善	ジクロロメタンによる地下水汚染対策の実施	管理手順に従った適正管理	管理手順に従った適正管理	管理手順に従った適正管理	
法規制および同意するその他の要求事項を順守する	14 ボイラー・エンジン・空調機等から放出する排ガスを適正に管理する	管理手順に従った適正管理を実施	管理手順に従った適正管理(自主基準に基づく監視・測定)	管理手順に従った適正管理(自主基準に基づく監視・測定)	管理手順に従った適正管理(自主基準に基づく監視・測定)
	15 コンプレッサー等の特定施設から発生する騒音・振動を適正に管理する	管理手順に従った適正管理を実施	管理手順に従った適正管理(自主基準に基づく監視・測定)	管理手順に従った適正管理(自主基準に基づく監視・測定)	管理手順に従った適正管理(自主基準に基づく監視・測定)

※グリーン調達率=(「グリーン調達ガイドライン」順守取引先数÷「グリーン調達ガイドライン」適用取引先数)×100

# 環境負荷削減の取り組み

地球温暖化防止や循環型社会構築に貢献するため、事業活動によって生じる環境負荷を把握・分析し、省エネルギー、廃棄物削減、有害物質の適切な管理等の環境負荷低減活動に活かしています。

## 事業活動と環境負荷

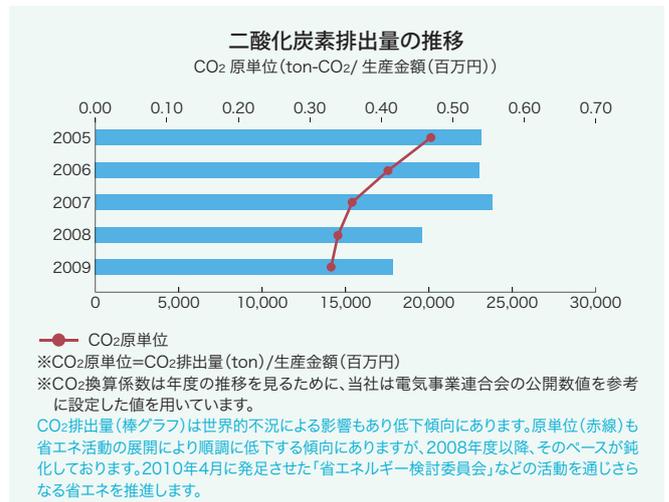
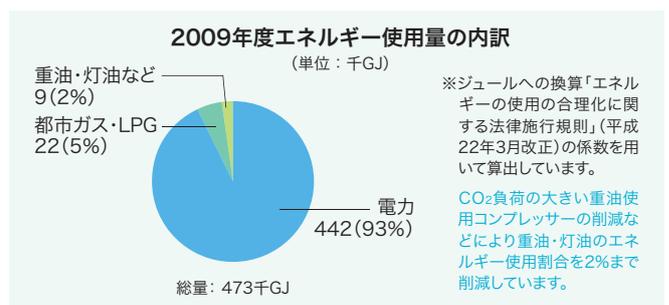


\*P17 参照

## 省エネルギーへの取り組み

EKKグループでは、省エネルギーによる地球温暖化防止への貢献を重要な課題と捉え、従来より活動を推進しています。しかし、世界的経済不況の影響に伴う各事業場での生産減により、2008年度下期からCO<sub>2</sub>排出量が例年対比で激減したことを受け、従来からの長期計画(CO<sub>2</sub>排出量を2005年度対比2010年度5%削減)を見直し、2010年度CO<sub>2</sub>排出量を2005年度対比で31.7%削減することを目標に取り組んでいます。

2010年4月には、各事業部・関連会社のエネルギー管理部門を中心とした「省エネルギー検討委員会」を設立しました。「省エネルギー検討委員会」では、関連業界団体を含めた省エネ事例や省エネに関する最新の動向(法的規制等を含め)等の最新情報を各事業部・関連会社と共有するとともに、省エネルギーの展開方針・技術的課題の克服に向けた検討などを開始しています。さらに、事務処理業務を中心に活動中の間接部門でも休憩中の蛍光灯・パソコン等の電源OFF・コピー用紙削減などきめ細かい省エネ活動を継続して推進しています。

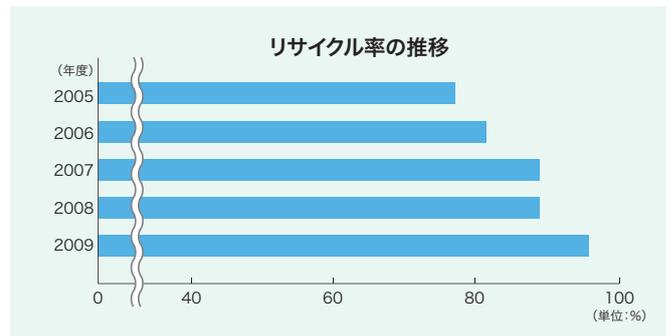
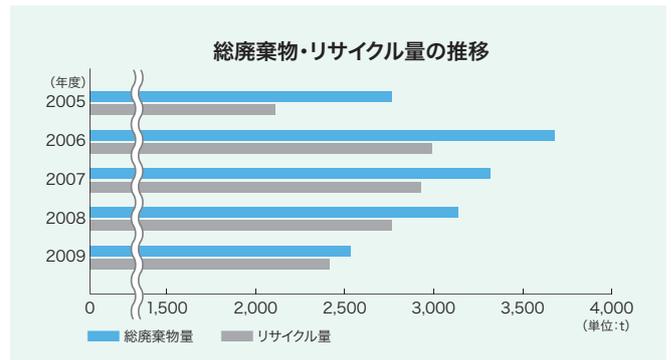


## 廃棄物削減の取り組み

企業活動で発生する廃棄物の動向については、ステークホルダーの皆様、それもとりわけ周辺住民の方から高い関心が寄せられています。EKKグループではこれを「企業の社会的責任」と捉え、法に従い安全かつ適正に処理しています。

2001年度当初、リサイクルできたのは一部の金属廃棄物のみでしたが、その後、廃プラスチック、カーボン粉、有機汚泥等をリサイクル化し、リサイクル率を向上させてきました。

これらの活動を通じて2009年度はリサイクル率96%まで向上させることができました。循環型社会の実現に向けて、2010年度以降は「リサイクル率98%」を達成することを目標に、全ての事業活動でさらなる廃棄物のリサイクル化を進めています。



### 省資源の取り組み

#### コピー用紙削減の取り組み

EKKグループでは、2008年度より環境保全活動を本社・事業場だけではなく、各営業支店へも対象を広げて展開中です。営業支店でもEKKグループ共通の目標の一つである省エネルギーに取り組めるように、コピー用紙使用量削減の監視活動を再開しました。

2009年度は各事業場（営業支店含む）で、印刷の節約、裏紙使用・Nアップ印刷の徹底を図り、全事業場で低減目標を達成しました。

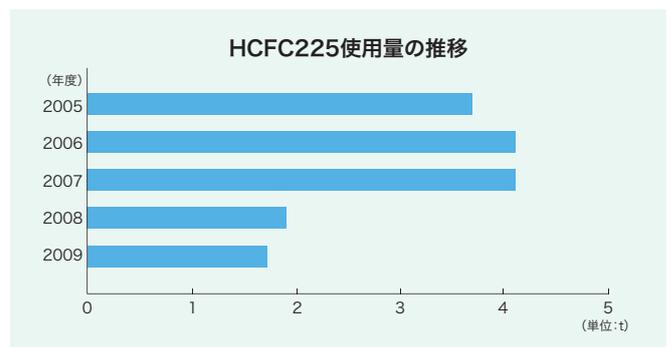


## 汚染防止・化学物質管理

### HCFC225(オゾン層破壊物質)の排出削減

EKKグループでは精密部品の洗浄等にHCFC225を使用しています。オゾン層破壊防止のため、2010年度の大気放出量を2005年度実績の50%削減とすることを目標にHCFC225の排出削減に取り組んでいます。2009年度の段

階で上記目標を達成しましたが、2010年度以降もさらなるHCFC225の排出削減を目指し、全社での一元管理ではなく各事業場ごとに細かく管理指標を設定し削減活動を継続していきます。



## ■PRTR法への対応

EKKグループでは、指定化学物質の環境への排出量・移動量の届出を義務付けるPRTR法(特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律)に従い、2009年度は下記7物質について届出を行いました。

### PRTR法第一種指定化学物質の排出・移動量

政令 番号	第一種指定化学物質の名称	排出量 (kg)				移動量 (kg)	
		大気	公共用水域	事業所土壌	事業所埋立	下水道	事業所外
43	エチレングリコール	0	0	0	0	0	920
144	ジクロロペンタフルオロプロパン	1,719	0	0	0	0	0
145	ジクロロメタン	9,856	0	0	0	0	990
198	ヘキサメチレンテトラミン	0	0	0	0	0	2,200
227	トルエン	5,624	0	0	0	0	1,103
231	ニッケル	0	0	0	0	0	9,331
266	フェノール	0	0	0	0	0	1,370
	合計	17,199	0	0	0	0	15,914

## ■土壌、地下水汚染改良への取り組み

埼玉事業場は1965年に開設し、その後、1997年まで金属製品の洗浄工程においてトリクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタンの塩素系溶剤を使用していました。1995年からの自主調査で、これらによる土壌汚染が生じていることが判明し、また、その後の地下水調査でも汚染が判明しました。土壌汚染については汚染土壌の入替工事を行い、地下水汚染については、汚染の拡大防止のため事業場敷地境界にバリア井戸を敷設しました。また事業場内に汚染除去井戸を敷設し、浄化作業を継続して実施しています。

## ■EU指令(ELV規制\*・RoHS規制\*\*)への対応

EUは、材料・構成部品に含有される環境負荷物質を排除するため、ELV規制(自動車業界)では鉛、水銀、カドミウム、六価クロムを、またRoHS規制(電子業界)ではこれら4物質に加えて臭素系難燃剤(ポリ臭化ビフェニル、ポリ臭化ジフェニルエーテル)の使用を禁止しました。EKKグループではこれらの規制に対応すべく、対象製品のデータベース化と代替化を推進しています。

2009年度は上記の環境負荷物質の対象業界向け製品での使用全廃を目標に、対象品目の抽出、代替材の検討、お客様との協議などの活動を推進しました。しかし、2009年3月末時点で一部の製品について代替できていない状況になっています。2010年度末には、対象業界向け製品で、当該物質の使用全廃を完了すべく、お客様との検討を継続し実施します。

\*ELV規制 EUが2000年10月より施行した、使用済み自動車(End of Life Vehicle)に関する指令。

\*\*RoHS指令 EUが2006年7月より施行した、電気電子機器に関する指令。

## 調達における取り組み

### グリーン調達の推進

EKKグループでは2008年5月に「EKKグリーン調達ガイドライン」を制定し、仕入先様へのISO14001認証取得依頼や、原材料・部品・製品・副資材に関する化学物質管理を推進しています。各事業場では仕入先様を招聘して説明会を実施するなどの活動をし、2009年度のグリーン調達率は66.7%となりました。

## KEMEL(株)の環境配慮

### 生分解性オイルの開発と拡販

船尾管シールを製作しているKEMEL(株)では、海洋汚染の原因となる潤滑油を生分解性に改良したST-77オイルとこのオイルに適用可能なシールの開発に成功しました。ST-77オイルは事故などによるオイル流出の際にも生分解され、海洋汚染を低減することが可能となります。2010年度以降も当該製品の拡販活動を展開し、海洋汚染のリスク低減に貢献していきます。

## 環境投資

### 2009年の主な投資内容

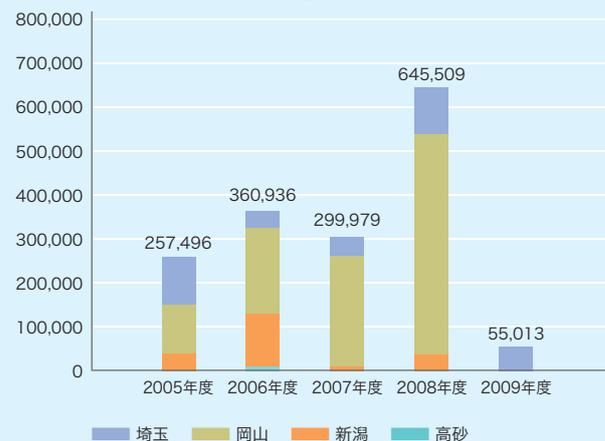
#### ●埼玉事業場(55,013千円)

真空炉冷却水循環装置・キュービクル設置等

※2009年度は新規投資がゼロベースのところ、必要性を吟味して環境投資を行いました。

### 環境投資実績

(単位：千円)



お客様とともに

# 品質への取り組み

EKK製品への信頼に応え続けていくために、品質管理に全社を挙げて取り組んでいます。

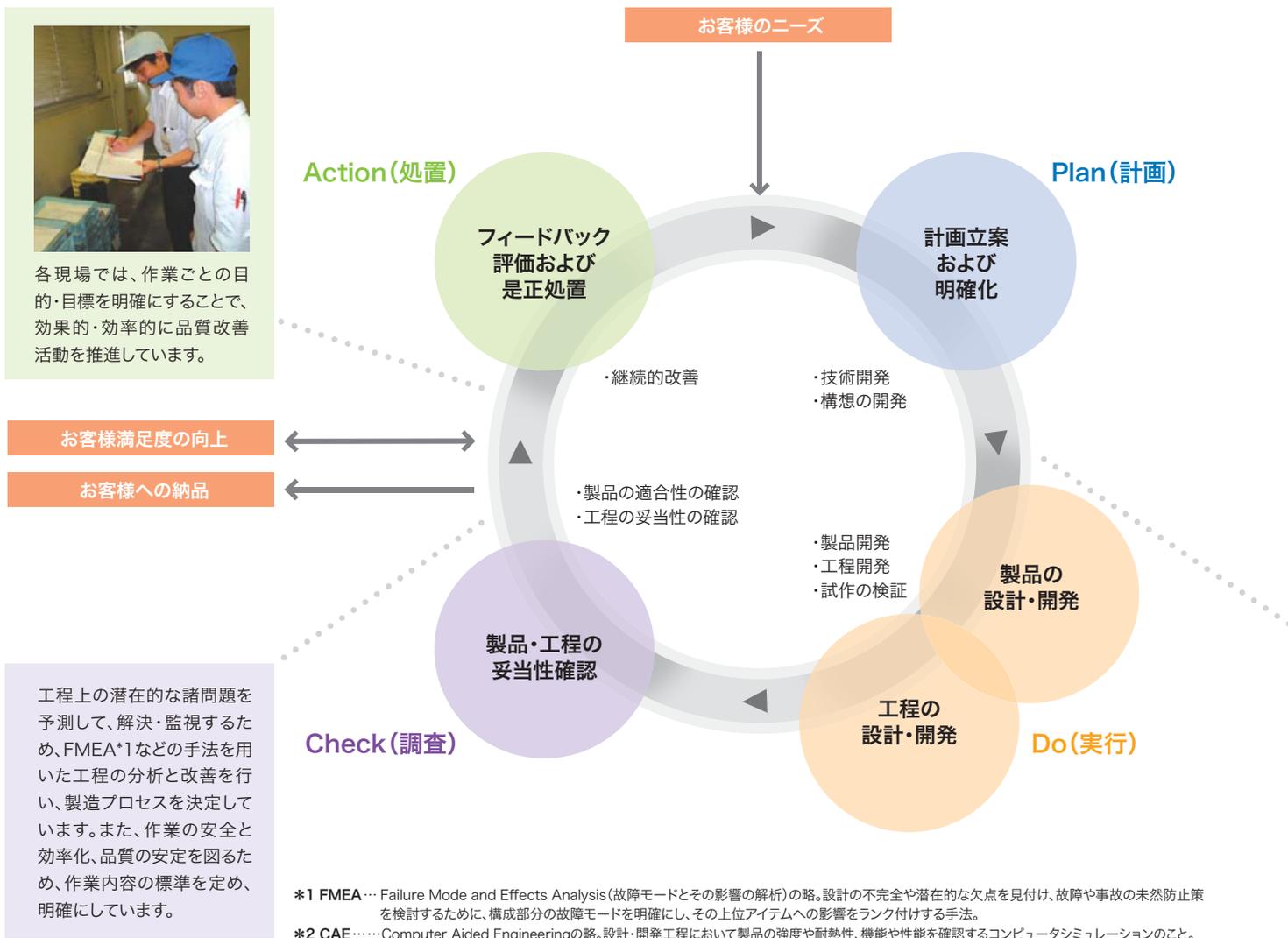
また、お客様満足度の向上のため、ニーズ変化を的確にとらえ、品質向上にいち早く反映して行くよう努めています。

## 品質向上の推進

品質に対するお客様の要求は年々厳しくなっており、それに伴い技術や設備もますます高度化・複雑化しています。こうした厳しい品質要求に応えていくためには、ISO9001(品質マネジメントシステム-要求事項)、ISO/TS16949(自動車生産及び関連サービス部品組織のISO9001適用に関する固有要求

事項)、JIS Q 9100(航空宇宙品質マネジメントシステム)などの認証を取得し、その基準に適合する高度な製品づくりを行う必要があります。当社ではこれらの国際規格認証を取得して品質マネジメントシステムを構築し、その効果的運用によって品質の継続的改善を図る活動に取り組んでいます。

## 品質マネジメントの流れ



私のCSR活動



KEMEL(株)  
技術部  
技術サービスクー  
半澤 知美さん

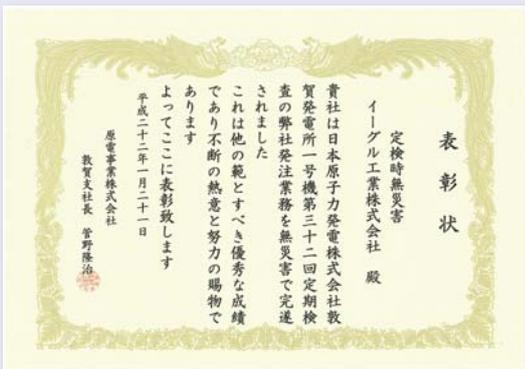
今年の私自身のテーマは整理整頓です。整理整頓の推進で、何が必要で何が無駄かを認識することができます。ECOを心がけるには、紙、CO<sub>2</sub>ともに無駄を省くことが大切です。現在、当社高砂事業所では4S運動を展開中です。資源の無駄遣いがないかを再認識するために、身の回りの整理整頓に事業所全員で取り組んでいます。

## お客様からの感謝状

### 日本原子力発電(株)様、 原電事業(株)様から定検無災害表彰 (EKK大阪支店)

EKK大阪支店およびESKは、2010年1月、日本原子力発電(株)敦賀発電所長および日本原子力発電の保守部門の子会社である原電事業株式会社敦賀支社長より感謝状(表彰状)を授与されました。

EKK大阪支店とESKは、2008年11月から2010年1月の長期にわたり、日本原子力発電株式会社敦賀1号機の第32回定期検査において主蒸気隔離弁の点検工事を受注し参加してきました。役目を終え廃炉になる予定だった敦賀1号機延命のための補修工事を含む重要な定期検査でしたが、これが無事に終了したことを受け、このたびの表彰につながりました。



## 地域とともに

### 地域・社会との交流

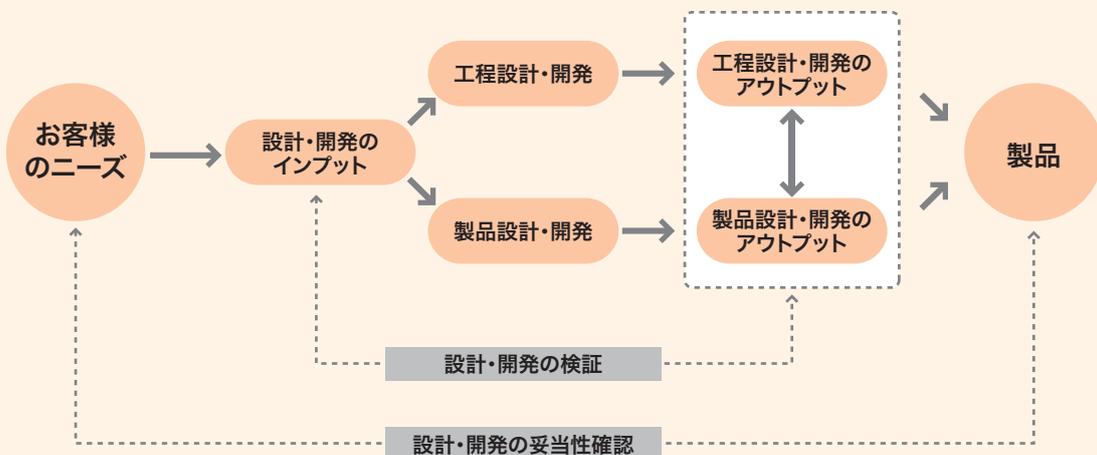
各事業場では地域社会とのコミュニケーションの向上を目指し、さまざまな取り組みを行っています。

#### 工場周辺美化活動



#### スポニチ佐渡ロングライド210参加

イーグルブルグマンジャパン(株)は従業員親睦機関「泉会」を通して県内外各地のスポーツイベント等に積極的に参加し、地域や市民との交流を図っています。



設計においては、製品の潜在的故障を予防するために、FMEA<sup>\*1</sup>などを用いた分析・改善、およびCAE<sup>\*2</sup>を用いたシミュレーション解析・改善などを行いながら、CADによる設計を行っています。また、すべての設計アウトプットが設計インプット要求事項を確実に満たすための試験(設計検証)、製品が規定されたお客様のニーズ・要求事項に確実に適合するための試験(設計の妥当性確認)などを行い、製品の保証をしています。

## 私のCSR活動



岡山イーグル(株)  
機器製造部  
メカトロ課  
小見山 恭子さん

我が社は岡山県の中西部に位置し、豊かな自然に囲まれた、とても環境の良い場所にあります。この豊かな自然を未来に残すために、こまめな消灯、ゴミの分別、裏紙の再利用など、身近なところで私にできることを継続して行っています。小さなことでも毎日続けていくことが、この豊かな自然を残すための第一歩だと思います。

従業員とともに

# 風通しが良く、働きがいのある職場づくり

従業員がいきいきと働くことができる職場づくりを推進しています。それを実現するため、安全衛生の確保はもとより、心と体の健康維持・増進、ワークライフバランスの実現など、具体的な施策を通し積極的に取り組んでいます。

## ■安全衛生確立への取り組み

### 安全衛生方針

#### ■基本理念

イーグル工業株式会社及びそのグループ会社は、愛情と信頼の会社理念のもと、コンプライアンス（順法の精神）を活動の原点として社会的責任を果たし、社会に貢献する製品を提供することにより、永続があり夢と誇りを持つ企業を従業員と共に目指します。

この理念のもと、心身ともに健全で活力ある人材を育むと共に、無事故・無災害で快適な働き甲斐のある職場の実現に向け、安全衛生マネジメントシステムを構築して労働安全衛生活動に取り組めます。

#### ■行動指針

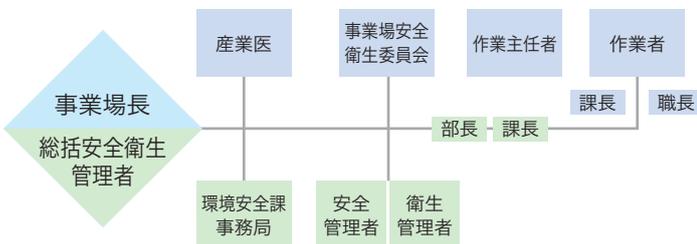
1. 全従業員の参加・協力のもと、事業活動に伴う危険源を的確に把握して評価し、重大リスクの低減に取り組みます。
2. 安全衛生目標を設定し、継続的改善により、パフォーマンスの向上を図ります。
3. 法規制及び同意するその他の要求事項を順守します。  
(その他の要求事項とは、例えば「加入している工業会の指針・綱領」等をいいます。)
4. 安全衛生及び健康確保は、良好なコミュニケーションの下に実現されるとの認識に立ち、労使間・職場間の活発な議論や協議を尊重します。
5. 安全衛生及び健康の確保に必要な教育・訓練を実施し、安全衛生・健康の重要性について周知に努め、意識高揚を図ります。

2006年4月1日  
イーグル工業株式会社  
代表取締役社長 鶴 鉄二

## ■労働安全衛生管理体制

EKKグループでは、事業場ごとに事業場長を総括安全衛生管理者とする安全衛生管理組織を設け、OHSAS18001を導入して安全衛生活動を推進しています。各事業場事務局と本社総務部とが連携することで、この活動に全社レベルで取り組んでいます。

また、従業員の安全意識の向上と、情報共有化による労働災害の発生防止を目的に、1973年より毎年、NOKグループの「労働災害統計」を各事業場の課長以上の役職者へ配布しています。



## ■心と体の健康

EKKグループでは、従業員の心身の健康維持・増進を図るため、24時間電話健康相談サービス（無料）を実施しています。また、産業医、看護師、管理職が共同して従業員のメンタルヘルスケアに取り組むなど、心身の健康管理を積極的にサポートしています。

### 2009年度電話健康相談実績

相談内容	件数	相談内容	件数
健診・ドックに関する相談	3	育児相談	106
健康保持・増進に関する相談	5	夜間・休日の医療機関の案内	13
気になる体の症状についての相談	289	ストレス及びメンタルヘルスに関する相談	50
家庭看護	64	紹介手配に関する相談	39
治療に関する相談	224	その他	35
母子保健に関する相談	3		
		合計	831

※上記件数は、NOK、EKKグループの合計

## ■従業員表彰制度

業績向上に特に貢献した従業員の労をねぎらうことで、常に他の模範となってもらうとともに、職場の志気向上も図るため、毎年、従業員表彰を行っています。2009年度は、前年度に比べ、「製造改善表彰」「事務改善表彰」「永年勤続表彰」の受賞者が大幅に増えました。

### 2009年度従業員表彰

表彰内容	受賞者数
勤務成績優秀者表彰	5名
発明考案表彰	1名
製造改善表彰	42名
販売優秀表彰	17名
事務改善表彰	11名
永年勤続者表彰	80名
合計	156名



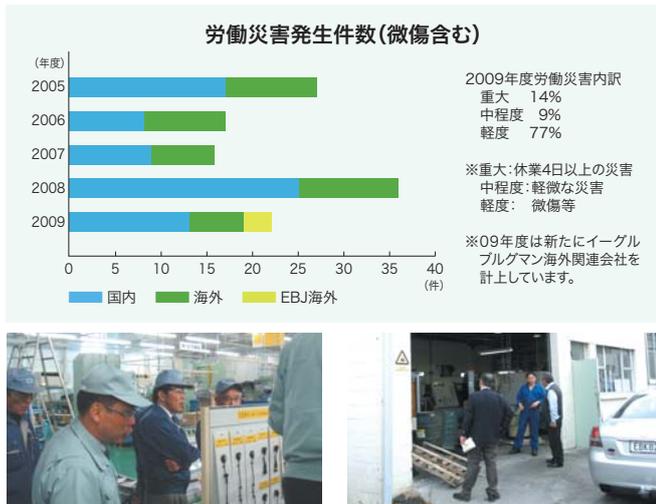
私のCSR活動

島根イーグル(株) 業務部業務課  
永海 正幸さん

安全衛生・環境等の業務に従事しています。環境への取り組みとして資源を有効利用する活動を推進し、今年度より引き取り業者変更により、約6.5tの産業廃棄物をサーマルリサイクルからマテリアルリサイクルへと移行できる見通しとなりました。地球環境にとって私の活動は小さなことかもしれませんが、今後も積極的に取り組んでいきます。

## ■国内外労働災害発生状況

2008年度に労働災害が大幅に増加したことを踏まえ、2009年度は発生防止策として、業務本部長による各事業場の安全パトロールを実施しました。2か年計画による既存設備の安全総点検など、安全衛生管理活動を精力的に推進した結果、労働災害を2008年度比で半減することができました。なお2009年度からは、海外グループ会社の安全衛生管理について充実を図るため、イーグルブルグマンジャパンの海外関連会社の労災実績についても新たに計上することにしました。



業務本部長によるパトロール(岡山イーグル)



海外関連会社へのパトロール  
(イーグルブルグマン・ニュージーランド)

## ■福利厚生

EKKグループでは、「毎日の生活の充実」「定年後の生活の安定」をキーワードに、従業員の福利厚生制度の充実に努めています。

### 主な福利厚生制度

目的	内容
財産形成	従業員持株会ほか
会社生活と家庭生活の調和	育児休暇、介護休暇ほか
経済的安定	退職金制度
住居等	社宅、独身寮制度、自動車リースほか

## ■雇用環境整備

EKKグループでは、従業員が意欲や充実感を持って仕事に取り組めるよう、ワークライフバランスを推進しています。時間外労働の削減・年次有給休暇の取得促進などを通じて、子育てを行う従業員の会社生活と家庭生活の両立を支援するための雇用環境整備に努めています。

## ■再雇用制度

EKKグループでは2006年度に再雇用制度を導入しました。「心身ともに健康であり、働く意欲がある者」という再雇用基準を設け、これに適合する方を再雇用しています。多くの方

がこの制度を利用して定年後の生活の安定を図る一方で、若い世代に技術・ノウハウの伝承を行っています。

## ■交通安全の取り組み

EKKグループでは、交通安全教育の一環として、各支店およびグループ各社で交通安全運動を実施しています。

また、無事故・無違反の従業員に対しては、5年ごとに表彰しています。

交通事故や交通違反を犯した従業員には、その運転が業務上か私用かを問わず「事故報告書」または「違反届け」を提出してもらい、職場ごとに自戒を促し、再発防止に努めています。



交通安全教育(新潟事業場)



職制による声かけ運動(岡山事業場)



一声運動(埼玉事業場)



一声運動(岡山イーグル)

## ■個人情報保護

EKKグループでは、お客様個人を識別しうる情報について、その重要性を深く認識し、取り扱いにあたっては「個人情報の保護に関する法律」などを順守するよう努めています。さらに「プライバシーポリシー」および「個人情報保護規定」という独自のルールを定め、お客様にご安心いただけるよう個人情報管理の徹底に取り組んでいます。

## 安全設備投資

2009年度の主な投資内容(計58百万円)

- (1)埼玉事業場(6,715千円)  
屋外消火栓配管塗り替え工事、防火設備点検(年2回)
- (2)岡山事業場(37,130千円)  
プレスおよびプレス以外設備安全対策工事(OEK)、移管設備安全対策工事(OEK)
- (3)新潟事業場(13,724千円) 危険物屋内貯蔵所新設
- (4)高砂事業場(950千円) 自転車置場増設

### 安全衛生投資実績

(単位:千円)



# 日本と世界に広がるEKK

## 国内事業場・営業支店およびグループ会社

### 北海道イーグル株式会社



品質第一に徹し、今年で創立15年。噴火湾が一望でき、左手に有珠山、右手に駒ヶ岳を望む地にある。平均年齢32歳と若い力がみなぎる会社

**主な製品** メカニカルシール、航空宇宙関係部品の高精度切削加工

### 岡山イーグル株式会社



岡山県中西部・高梁市。その美しい山々と清流に囲まれた地において、シール、バルブなど環境に配慮した製品を生産

**主な製品** カークーラーや冷凍機用メカニカルシール、キャタピラー用フローティングシール、ターボチャージャーや燃料装置の圧力調整バルブなど

### 岡山事業場



岡山県中西部・高梁市の成羽川と高梁川が合流する、自然に恵まれた地域にある。環境保全活動や働きやすい職場作りにも積極的に取り組んでいる

**主な製品** 自動車用メカニカルシール、カーエアコン制御弁、原子力発電用大型弁

### 島根イーグル株式会社



島根県東部・雲南市において、EKK岡山事業部品目を生産。リップシールでは世界の供給基地としての重要な役割を担う

**主な製品** リップシール、コントロールバルブ、ATソレノイドバルブ

### 広島イーグル株式会社



2009年10月、EKK岡山事業部の衛星企業として誕生。明るく元気よくをモットーに、社員一丸でEKKグループ自動車産業向け部品加工の中核工場を目指す

**主な製品** 自動車のウォーターポンプ用メカニカルシールやコントロールバルブの構成部品

### 新ニノミヤメタル株式会社



広島事業場と島根県・江津工場を擁する鋳鉄铸件製造販売会社。技術サービスの強化とフレキシブルな供給体制で顧客ニーズに応える

**主な製品** 船舶・建設機械・産業機械等の部品、マンホール鉄蓋(製品単量5kg~15トン)

### KEMEL株式会社



高砂事業所



呉工場

2010年5月にEKKの100%子会社となり、総合船舶用シールメーカーとして「船舶の安全・快適な航行」「環境保護」に貢献している

**主な製品** 船尾管シール装置、船尾管軸受、中間軸受、プロペラ修理、他

### イーグルブルグマンジャパン株式会社 新潟事業場



EKKグループ一般産業向け製品の生産拠点であり、グローバル企業ブルグマン社のアジア・パシフィック地域マザープラント

**主な製品** メカニカルシール、溶接ペロース、回転継手、焼結材料応用部品、他

### 埼玉事業場



1965年にメカニカルシール専門工場として設立。現在は経営企画室や技術本部を中心とする企画、研究・開発拠点、並びに航空宇宙事業部の技術・生産拠点

**主な製品** ジェットエンジン用シール、ロケット等の航空宇宙機器用シール

### 株式会社バルコム



創業時、業界初「圧力センサ直結型デジタル圧力計」を開発販売。以来、「圧力・荷重の専門集団」として「業界初」製品を多数開発、提供し続けている

**主な製品** 圧力センサ(歪出力、アンブ内蔵)、圧力スイッチ、ロードセル、デジタル表示器

### リグナムバイター株式会社



神戸の旧盛り場「新開地」の南に位置し、約1,300㎡の敷地にリグナムバイターの実質的本社部門と神戸営業所、KEMELの神戸支店、神戸工場が同居

**主な製品** KEMEL製品を主体とした船舶関連商品の仕入れ販売

- 本社
- 営業支店
- 事業場
- 衛星企業

図示以外のグループ会社

イーグルサービス株式会社

## 海外グループ会社

EKKグループは「グローバル・アンド・パブリックカンパニー」をキーワードに、ドイツのメカニカルシールメーカーであるブルグマン社と技術・製造・営業、さらには資本分野を含む全面提携を行い、強固なアライアンス関係を構築して広く海外に事業展開しています。

製造、販売の拠点網は、欧米諸国はもとより、新興国として成長著しい中国、インドをはじめ世界44カ国に広がり、その企業数は子会社・関連会社を合わせ約100社を数え、世界三大グローバル・メカニカルシール・プレイヤーの一角を形成しています。



**EagleBurgmann India Pvt. Ltd.**  
(インド)

2009年、インドにおけるイーグル工業(株)とブルグマン社それぞれの子会社が業務統合して誕生した。事業内容は、各種メカニカルシールの製造、販売。将来が有望なインド市場でのシェアは50%を超え、グループでは重要な位置づけにある



**EKK Eagle (Thailand) Co., Ltd.**  
(タイ)

タイの首都バンコクの約100km東にあるタイ国内最大級の工業団地(アマタナコン工業団地)内に立地。ウォーターポンプ用メカニカルシール、ターボチャージャー用アクチュエーター、オートバイ用リードバルブを生産し、その大半を日系メーカーに販売している



**Eagle Industry (Wuxi) Co., Ltd.**  
(中国)

2002年設立。急成長する中国市場におけるEKK製品の生産・販売拠点。カーエアコン用リップシール、2輪排ガス対策用リードバルブ、建機用フローティングシール、ウォーターポンプ用メカニカルシール、ターボ用ウェストゲートアクチュエーター等を手がけている



**Simrax B.V.**  
(オランダ)

1976年EKKの欧州での生産販売会社として独F社との合併でドイツに設立。2001年、オランダに移設統合されたが、昨年合併解消し、EKK100%となった。メイン生産品目は自動車用WPシール。EKK自動車品目の欧州への拡販並びに現地生産化を推進している

# 「EKKグループ CSRレポート 2010」へのご意見、ご感想をお寄せください。

「EKKグループ CSRレポート 2010」をお読みいただきありがとうございます。

皆さまから読後のご意見、ご感想をいただき、今後のCSR活動や本レポートの作成に役立てていきたいと考えています。つきましては、お手数ですが、下記アンケートにご協力くださいますようお願いいたします。

ご回答送付先

イーグル工業株式会社 業務本部 総務部 CSR課

FAX.03-3432-5448

Q1 本レポートをお読みいただいたご感想をお聞かせください。

- |          |                                   |                                 |                                 |                                   |                                 |
|----------|-----------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|
| わかりやすさ   | <input type="checkbox"/> 大変わかりやすい | <input type="checkbox"/> わかりやすい | <input type="checkbox"/> 普通     | <input type="checkbox"/> ややわかりにくい | <input type="checkbox"/> わかりにくい |
| 読みやすさ    | <input type="checkbox"/> 大変読みやすい  | <input type="checkbox"/> 読みやすい  | <input type="checkbox"/> 普通     | <input type="checkbox"/> やや読みにくい  | <input type="checkbox"/> 読みにくい  |
| 記事のボリューム | <input type="checkbox"/> 多すぎる     | <input type="checkbox"/> やや多い   | <input type="checkbox"/> ちょうどよい | <input type="checkbox"/> やや少ない    | <input type="checkbox"/> 少なすぎる  |
| 記事の内容    | <input type="checkbox"/> 大変充実している | <input type="checkbox"/> 充実している | <input type="checkbox"/> 普通     | <input type="checkbox"/> やや物足りない  | <input type="checkbox"/> 物足りない  |

Q2 本レポートで印象に残った項目を下からお選びください(複数回答可)

- 表紙 目次 大きな地球を守る確かな技術 トップメッセージ こんなところにEKK製品  
特集・「最先端」を支えるEKKの技術…主蒸気隔離弁 特集・「最先端」を支えるEKKの技術…「航空宇宙」関連製品  
CSRマネジメント 環境マネジメント 環境負荷削減の取り組み 品質への取り組み  
地域・社会との交流 風通しが良く、働きがいのある職場づくり 日本と世界に広がるEKK 私のCSR活動

Q3 本レポートの項目を一部割愛した冊子版報告書も公開していますが、冊子版はご覧になりましたか。

- 見た 見ていないので、見ようと思う 見ていないが、今後も見るかわからない 見ない

Q4 本レポートやEKKグループのCSR活動について、ご意見・ご感想・ご提言がありましたらお聞かせください。

Q5 本レポートをどのような立場でお読みになりましたか。

- お客様 株主・投資家 当グループ事業場等の近隣にお住いの方 政府・行政関係者 報道関係者  
NGO・NPO 企業・団体の環境担当者 調査・研究機関 学生 当グループ従業員  
その他( )

ご協力ありがとうございました。お差支えない範囲で、下記にご記入ください。

ご記入いただいた個人情報は適切に管理し、本レポートのアンケート情報としての利用に限定し、ほかの用途には一切使用いたしません。

■お名前	■性別	■年齢
	男性・女性	歳
■ご連絡先(□ご自宅 □勤務先)		
〒	■E-mail	
■ご職業	■部署・役職名	

## EKKグループ CSRレポート 2010 冊子版のご案内



本誌（WEB版）の掲載内容から「経営体制」と「環境報告」を割愛した、ダイジェスト版の冊子も発行しています。

さらに、下記について、WEBページでご紹介しています。

- リスクマネジメント方針 → <http://www.ekk.co.jp/csr/index.html>
- 事業活動における倫理上の行動指針 → <http://www.ekk.co.jp/csr/csr02.html>
- 環境マネジメント方針 → <http://www.ekk.co.jp/csr/csr03.html>
- EKKグリーン調達ガイドライン → <http://www.ekk.co.jp/csr/csr05.html>



イーグル工業株式会社

〒105-8587 東京都港区芝大門1-12-15 正和ビル

<http://www.ekk.co.jp/>